

## 第43回奈良県小学生バレーボール選手権大会

### 開催要項

1. 主催 奈良県バレーボール協会
2. 主管 奈良県小学生バレーボール連盟
3. 後援 奈良県教育委員会（申請中）／奈良市教育委員会（申請中）
4. 協賛 オオクラスポーツ
5. 開催期日 1日目：令和4年11月19日（土） 2日目：令和4年11月23日（水・祝）
6. 開催場所 ロートアリーナ奈良（奈良市中央体育館）／第二体育館
7. 抽選会 日時：令和4年11月6日（日）9：30～  
場所：社会福祉総合センター 5階 研修室A（橿原市大久保町320-11）  
※抽選会は監督会議を兼ねているので、監督が必ず出席すること。やむを得ず欠席する場合、コーチ、マネージャーでもよい。その場合は必ず委任状を提出すること。指導者以外（保護者等）の出席は認めない。また、成人であること。
8. 参加申込 Eメールに①申込書 ②MRSの加入選手一覧表（MRS内の「所属メンバー管理」から「加入選手一覧出力」でダウンロード可能）をそれぞれ添付して送信すること。  
選手の同一チーム内における別種別間、もしくは複数チーム間での二重登録の場合は無効とする。  
（締め切り 令和4年10月23日（日）19：00必着）  
競技委員長 関田貴史 E-mail narashovb\_kyougai@yahoo.co.jp
9. 参加費 1チームにつき4,000円（抽選会のみ納入）
10. 参加規定 (1) 令和4年4月1日に12歳未満の選手。  
(2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、大会参加申込締切日までに、JVA-MRSの登録を済ませていること。  
(3) 奈良県に在住している選手、もしくは「他都道府県在住選手に関する新規登録及び移籍報告書」を提出し、連盟から認められた他都道府県に在住している選手（ただし、チームの選手人数の3分の1以下。かつ、同時にコートに入れる他都道府県在住選手は2名以内）。  
(4) チームは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。  
(5) チームの監督は、奈良県に在住または勤務する成人であること。  
(6) ベンチスタッフの1名以上は、公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟共催の全国小学生バレーボール指導者二次講習会受講者か、公益財団法人日ス協認定バレーボールのコーチ1・2・3・4のいずれかの資格を持っている者でなければならない。  
(7) チームの選手、ベンチスタッフは大会当日に健康観察カードを提出すること。  
(8) 1登録団体何チームの参加でもよい。ただし1チームに1名の帯同審判員を必要とし、複数チームの監督は兼ねられない。
11. 競技規則 令和4年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制を用い、21点のラリーポイント制（第3セットは15点）を採用する。また、各セット11点時（第3セットは8点時でのコートチェンジ後）に給水のためのタイムアウトをとる。
12. 競技方法 トーナメント方式とする。  
1日目：女子／混合－準々決勝まで  
2日目：男子／女子／混合－決勝まで  
（参加チーム数による変更あり）
13. 審判員 公益財団法人 日本バレーボール協会並びに奈良県バレーボール協会及び奈良県小学生バレーボール連盟の公認審判員とする。
14. 使用球 公益財団法人 日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール「ミカサボール（男子／男女混合）／モルテンボール（女子）」を使用する。
15. 提出書類 抽選会 ①参加費  
試合当日 ②エントリー用紙（当日のメンバーのみ記入） ③健康観察カード ④体育施設利用者名簿 ⑤その他事務局から提出を求められた書類
16. その他 (1) 男子上位1チーム、女子上位2チーム、混合上位1チームは、第43回近畿小学生バレーボール選手権大会の出場権を得る。  
(2) 参加チームは、スポーツ保険等に必ず加入していること。  
(3) 選手は、保護者が出場を承認した者であること。選手の健康診断は、各チームで受けておくこと。  
(4) 大会中傷病が生じた場合、応急処置（医師に診せるまで）は大会本部にて行うが、その他の責任は負わない。  
(5) ベンチスタッフの服装は統一すること。（短パンやTシャツは不可。襟付きの服、長ズボンを着用すること。）小学生をベンチスタッフに入れる場合は、統一された短パンやTシャツであれば可とする（Tシャツの色は、他のベンチスタッフと異なっていてもよい）。また、監督・コーチ・マネージャー章を必ず左胸部に着けること。  
(6) 事務局から別途配布されている資料「新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止ガイドライン」を熟読すること。  
(7) 声を出しての応援はしない。鳴り物は使用しない。  
(8) 大会当日に会場施設が利用できない場合は、本大会を中止する。